

提供日 2025/05/02
タイトル 風しんの発生がありました
担当 健康福祉部 医療局感染症対策課
連絡先 静岡県感染症管理センター
TEL 055-928-7220



—危機管理情報— ～県内で風しんの患者が発生しました～

1 要旨

2025年第17週（4月21日～4月27日）に西部保健所管内で風しん患者の発生がありました（高齢でない成人）。県内で風しんの患者が発生したのは、2021年10月以来です。
近年、風しんの発生は少ない状況ですが、全国的に麻しんの患者が増加しているため、**定期予防接種の対象者は、麻しん・風しん混合（MR）ワクチンの接種をお願いします。**

2 風しんについて

- 風しんは、発熱、発疹、リンパ節の腫れなどを特徴とする病気です。
- 風しんウイルスによる感染症で、咳やくしゃみなどの飛沫で感染します。
- 特効薬はなく、症状を抑えるための治療が中心となります。
- 風しんはワクチン接種で予防することが重要です。
- 風しんに対する免疫を持たない女性が、妊娠中（特に妊娠20週頃まで）に風しんに感染すると、白内障、先天性心疾患、難聴を主な症状とする先天性風しん症候群の児が生まれる可能性があります。このため、特に妊娠中の方は、風しんに感染しないように注意することが必要であり、家族からの感染や職場における感染にもかぜ症状の人との接触を避けたり、人混みでのマスク着用するなど、気をつけることが重要です。なお、妊娠中又は妊娠の可能性がある場合、風しんワクチンの予防接種を受けることができません。また接種後2か月程度は妊娠を避けるなどの注意が必要です。

3 県民の皆様へ

- 麻しん・風しん予防のためには、予防接種が有効です。定期予防接種の対象者は接種をお願いします。

<定期接種対象者> 第1期：1歳以上2歳未満 第2期：小学校入学前の1年間

- 麻しん・風しんが流行している国へよく行く方や、流行国からの渡航者との接触機会が多い方で、麻しんや風しんの罹患歴、ワクチン接種歴がなく、抗体検査で免疫があることを確認できない方は、任意でのワクチン接種を検討してください。

4 風しん患者の発生状況（単位：人）2025年は現時点の暫定

年	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)
全国	2,941	2,298	101	12	15	12	9	6
静岡県	40	18	2	1	0	0	0	1

5 （参考）麻しん患者の発生状況（単位：人）2025年は現時点の暫定

年	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)
全国	279	744	10	6	6	28	45	96
静岡県	5	10	1	0	2	2	0	1

【風しん抗体検査について（県HP）】

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1024227.html>